

第9回日本血液学会関東甲信越地方会幹事会議事録

代表：三谷絹子（獨協医科大学）

会長：木村文彦（防衛医科大学）

日時：平成30年7月14日（土）

場所：所沢市民文化センターミュージズ 管理棟4階 会議室2号

参加者

青木定夫、麻生範雄、石田禎夫、和泉透、猪口孝一、薄井紀子、臼杵憲祐、大屋敷一馬、木崎昌弘、木村文彦、桐戸敬太、黒川峰夫、小松則夫、鈴木隆浩、高野弥奈、高山信之、瀧澤淳、谷憲三朗、谷口修一、東條有伸、富田直人、中島秀明、中世古知昭、長谷川雄一、前田美穂、松田晃、三谷絹子、森田公夫、大橋一輝（監事）

【議事】

1) 前回議事録確認（平成30年3月3日）

一同で確認を行った。

2) 役員人事について

三谷代表より、代表の任期は二年であり再任は認められていないこと、今秋の血液学会の会期に合わせて関東甲信越地方会の代表も交替となることが再度説明された。次期代表候補として運営委員会より小松則夫先生が推薦され、一同異議無く第3代代表とすることを承認した。

また、本年度の新役員として、以下のとおり承認された。

〈新運営委員〉

真部 淳（聖路加国際病院 小児科）

〈新幹事〉

犬飼 岳（山梨大学医学部 小児科）

※前幹事の杉田先生からの推薦。

3) 日本血液学会新評議員特別枠推薦について

地方会枠・女性枠の候補者について、運営委員会での慎重な審議の結果、以下の候補者を地方会から推薦したと報告された。どちらの枠についても募集の主旨を重視し、業績や年齢、臨床経験などから総合的に判断したものと説明がなされ、一同意義なく承認した。

<地方会枠>

大越 靖（筑波大学/茨城県立中央病院 準教授/部長）

米野 琢哉（国立病院機構水戸医療センター 副院長）

高野 弥奈（武蔵野赤十字病院血液内科 輸血部長）

<女性枠>

萩原 真紀（横浜市立大学病院 講師）

4) 第8回地方会開催について（報告）

谷口会長より、参加者が214名であったこと、ならびに収支決算について報告された。

5) 第9回地方会開催について（開催状況）

木村会長よりご挨拶をいただいた。

6) 第10回地方会開催について（準備状況）

臼杵会長より、2019年3月23日に五反田で開催予定である旨報告があった。

7) 第11回地方会開催について（準備状況）

三谷会長より、2019年7月27日に日光で開催予定である旨報告があった。

8) 事務局収支報告

2017年8月から現在までの収支簿が資料として提出された。血液学会からの地方会費の分配が開始となり、初年度である今回は総額246万円ほどの地方会費が分配される予定と報告があった。

9) 今後の運営方針について

前項で報告のとおり、地方会費の分配が開始されたため、地方会における会員への還元、適正な使用法を具体的に検討することが必須であるとされた。案として若手医師向けの研修セミナーや教育企画の開催が上げられ、以下のような意見交換がなされた。

・地方で開催すると旅費や宿泊費の負担が大きいため、3月の東京開催での企画が望ましい。

・地方会前日に特別プログラムを組み、夜に懇親会（情報交換会）を開催するのはどうか。

・地方会プログラムのうち一列を研修医・若手医師向けの構成とする。

・中堅会員を中心にプログラム委員会を設立してはどうか。

・講演形式ではなく、実地体験型プログラムを取り入れる。

・血液内科の魅力をアピールするツールとしてミニ冊子を作成する案もある。